

倉敷市保健所運営協議会議事録（概要）

日 時：令和5年10月19日 15:15~17:00
場 所：倉敷市保健所 3階 301会議室
出席者：委員15名（別紙）
傍聴者：0名 報道機関：0社

1 倉敷市保健所長挨拶

2 開 会

- (1) 委員自己紹介
- (2) 事務局職員紹介

3 議 事

- (1) 保健所業務の現状と課題について（保健衛生年報）
保健所参事による概要説明

一 質 疑 一

委 員 7ページで職員配置のところですが、精神疾患の方がコロナ等で鬱になったりして増えている状態で、精神保健福祉士が1名しかいらっしゃらないとのことですけど、今後はどのようにお考えでしょうか。

市 現在、配置させていただいております精神保健福祉士は1名でございますけれども、保健師が精神福祉対策に対応させていただいております。実際に今後の精神保健福祉士の配置がどのようになるかというのちよつと今ここでの確定はできませんが、実際には保健師5名と精神保健福祉士1名とを合わせまして、直接対応させていただくのは6名となります。

委 員 分かりました。ただ、今後、精神疾患の方が減ることは少ないと想いますので、保健師はいろんなことをしていますので、できれば専門の職種の人も増やしていくだきたいと思っております。よろしくお願ひします。

市 精神保健福祉士のことを御質問いただきましたが、今、倉敷市の中では精神保健福祉士が3名おりまして、この精神保健は確かに患者さんも増えていますし、24時間対応ですので、ある程度のジョブローテーションも必要ではないかと思っております。そのあたりのことも人事と情報共有しながら進めてまいりたいと思っております。それと追加ですけれども、先ほどの保健師の数ですが6名になりますので、訂正させていただきます。

委 員 これに関してはよろしいでしょうか。精神保健福祉士を養成している大学としても、ぜひ増員ができればと思っております。今の話に連絡すると、自殺の方の数が60名から80名ということで、ゲートキーパー育成等いろんな対策を長年されていると思いますが、ここに来て少し数が増えております。これについて、次年度以降何か対策は考えていることがありますか。

市 今年度は、自殺の数が増えてきているということで、特に多いのが中高年の自殺です。以前からその傾向がございますが、中高年の自殺が増えております。今年度、

特に力を入れておりますのが働き盛りの人への対策ということで、ゲートキーパーの研修を事業所とかそういったところでもぜひさせていただきたいということで、商工会議所にお願いするなどしています。また、毎年、生きるを支えるフォーラムというのをやっておりまして、今年度はその働き盛りの方を対象にということで産業カウンセラーの先生にお越しいただいて講演をやっております。百名を超える非常に多くの方に参加をしていただきました。民間の会社等に対してゲートキーパー研修をさせてくださいと働きかけをしていますけれども、お忙しかったり時間が限られたりとかで、なかなか活動の場が広がっていきませんので、ぜひ本日お集まりの委員の先生方にも、そういったゲートキーパーの話を聞く機会を私たちに与えていただけたらと思いますのでよろしくお願ひします。

委 員 保健課の方から薬局の方に、カードで「何かあったら連絡してください」というふうなものを預かりして配らせていただいていますが、現在の実数としてや電話の状況など、もし分かればお願ひしたいと思います。

市 こちらの相談窓口カードですが、現在146か所で、置かせていただいております。実績で言うと年間で直近の数字で4,350枚配布させていただいております。相談ですが、直接カードを見て相談したというのは少ないですけれども、電話の相談件数は増えており、年間3,500～3,600件の電話相談を受けておりますので、カードを配ることで一定の効果が出ているのではないかと思います。

委 員 また後で出てくるかもしれません、少子化ということで出生数がかなり減っていますけども、30ページ辺りにパパママセミナーや、子育てはじめの一歩教室のことが書いてあります。コロナでかなり参加が減っている状況ですけど、パパママセミナーは復活されていますが、子育てはじめの一歩教室はなかなか参加者が増えていないようですが。このあたりの限定的なデータだと思いますけども、何か御発言ありますか。

市 はいご質問ありがとうございます。パパママセミナーの方は30ページの方に書いておりますように、ライフパーク倉敷の市民学習センターと共に催させていただいております。非常に人気がある教室で、満員でお断りしないといけないような時も結構あります。以前はお母さまだけ参加されていましたが、もう今はしっかり御両親でパパママセミナーということでお見えになっておられます。これは病院の産婦人科が、母親学級をコロナの影響で中止をされているところがすごく増えておられましたので、その関係もあるようです。子育てはじめの一歩教室ですが、コロナが結構流行っていた時は、やはり密になるのもいけないということで人数をかなり制限とか、少し減らして予約制という形をやらせていただきましたので、少なくなっていますけれども、今年度は、また大勢のお母様方と赤ちゃんに来ていただいております。

(2) 新型コロナウイルス感染症について（資料1）

保健所副参事兼保健課長による説明

一 質 疑 （ 保健課 ） 一

委 員 当院もクラスターが起きたときに保健所の方に本当にお世話になりました。本当に大変だったと、今振り返って、ちょっと感動というか涙が出てきます。現在はもう5類になったので、コロナの方が来られても保健所の方にしっかり教わったことで、簡単に対応ができ、すぐ行動できるようになったのでよかったです。

ありがとうございました。

委員 ワクチン接種ですけど、連合医師会ずっと向き合ってやってきましたが、だいぶ終息はしてきましたが、今感染している方のワクチン接種の回数が0回から3回の方が圧倒的に多くて、まだ時間的にもゆとりがありますし、皆さんで市民の方に啓発していただいて、まだワクチンを打っていない方はできるだけ早く打っていただきたいと思います。この間も若い19歳で接種0回の女の子に後遺症が出てきて、何の後遺症かというと、髪の毛が全部抜けています。19歳の女の子が帽子をかぶってきて可哀そうですけど、やっぱり自分で接種しなかったという反省がどうしてありますよね。なんとか今は漢方等いろいろ方法があって、生えてきているのでほっとはしておりますが、接種していない人ほど、味覚障害とか後遺症が残っています。医者から見ると打たないのは意味が分からないので、皆さんせっかく集まつていただいているので啓発していただければと心より思っております。よろしくお願いします。

委員 1番最後のスライドの「保健所の体制確保と数値目標」というところで、今まだ振り返り途中ということですのでここをしっかりやっていただいて、これ第6波と言われましたよね。そのあたりを中心に考えられるということですので、その辺りをしっかりやっていただけたらと思います。

(3) 健康増進計画・食育推進計画について（資料2）

健康づくり課長による説明

一 質 疑 （ 健康づくり課 ） 一

委員 43ページの倉敷市国保特定健診でございますけれども、受診率が23.7%で本当に低いと思います。これは実は中核市が62ぐらいある中のワースト3ぐらいに悪かったということです。市としても令和2年から、今まで個人負担が2,000円だったものを500円にして、もう皆さん受けましょうとしましたが、ちょうどその時にコロナがありまして、なかなか健診にも行けないという、本当にもどかしいような時期になりました。しかし、徐々にではございますけども、昨年度に26.9%まで3%上りました。全国中核市は大体35%まで健診率があります。特に船橋市は48%まで上がっています。厚労省は6割を目指していますが、なかなか倉敷市は上がりません。本当に安くしたり、色々な努力啓発をされていますけども、「ワンコインで受診できます！」のような啓発よりも、逆に「倉敷市の健診率が26.9%！全国ワースト何位です！」と、そこまで言ってしまって、もう市民の皆さんにここまで悪いのだっていうことをしっかり伝えた方がいいと思います。それで市民の皆さんのが心を持つことによって、健診をちゃんと受け、医療費がかからない体制になりますので、そんな部分について何かできればと思います。また私も今度、そういう高い健診率の船橋市とかをちょっと勉強しに行こうかなと思っております。今、500円とワンコインになりましたけれども、他市ではもう無料化していますからね。そういう部分においてちょっと何か一言ありましたらお願ひします。

市 おっしゃる通りで、じわじわじわじわと上がっておりまして、コロナの中でも倉敷市は受診率が全く下がりませんでしたので、もうじわじわといろんな対策をしていますけど、やはり先ほどおっしゃられたように、高い健診率のところのこともしっかり勉強しながら、アピールをどこまでできるかなとは思いますけれども、みん

なで相談して取り組んで参りたいと思います。ありがとうございます。

委 員 健康増進計画と食育推進計画が今後一緒になるというところで、この中では社会の健康という言葉がちょっと聞こえてきて、特に食品ロスの削減とか、そのあたりも含めての対策になるのでしょうか。何か具体的にあるのでしょうか。

市 ありがとうございます。食育推進計画と一緒になるということで、もう単に健康づくりのみということではなく、今はSDGsということで、持続可能な社会というのをすごく大事にされておりますので、消費生活学級の委員さんにも来ていただいている。昨日も少し話をしたのですが、買い過ぎない、食べ残さないとかのスローガンがあるそうです。その辺のこと市民にもっと啓発をしていきたいなと思っています。今後もいろんな団体の方の意見を聞きながら進めてまいりたいなと思っています。

委 員 ありがとうございます。やはり人というのは環境も大事ですので、このあたりも含めて考えていただくのも必要じゃないかなと思いますので、よろしくお願ひします。

(4) 食中毒発生・収容犬猫の状況について(資料3)

生活衛生課課長補佐による説明

一 質 疑 (生活衛生課) 一

委 員 ホームページは写真ですか動画ですか。

市 ここに載っているのは前のものなので、今現在いるものはホームページをご覧ください。

委 員 令和3年度が犬の捕獲も譲渡も上がっていて、ちょうどコロナのころですよね。一般世間ではコロナの時にペットがすごい人気になったと聞いておりますが、捕獲と譲渡が一気に上がった理由はあるのですか。

市 職員の個々スキルの高さがちょっと関係しておりますし、令和3年度がなぜ多いのかと言われると、たまたまそういう職員が揃っていた、というのも理由の1つなのです。もちろん捕獲機を置いてそれに入る犬もいるので、それがたまたま上手くいっている年というのもあるので、決して最近増えているという話ではないです。

委 員 その年によってということですね。

市 そうですね。たまたま、としか言えないのですが。

委 員 譲渡された犬がその後どうなったかという調査もされるのですか。

市 每年ではないですが何年かおいてアンケート調査をさせていただいて、今現在どうされていますか、というようなことはお聞きしております。

委 員 その後のフォローもしているという事ですね。ありがとうございました。

(5) 残留農薬検査について（資料4）

衛生検査課長による説明

一 質 疑 （衛生検査課）――

委 員 分析自体は、定量分析だと思うんですけども、平成22年以前は国の方でやっていたということで、その時にこの農家の方たちが使っていた農薬というのが、例えばそれに合致しないものであれば定量分析に当たらないと。定性分析的なものはやっていたのでしょうか。

市 まずおっしゃられるように基本的にこの検査は、その残留農薬基準に適合するかどうかを判断するための検査になりますので、定量分析が必要になってきます。もう一方で、その実際の農薬が本当にその農薬成分であるかどうかというのが定性分析だと思うんですけど、それはあるレベルで検出がされましたら、その別の測定方法で定性分析をして、その農薬であるという確認をとっております。

委 員 検出されたものが国の認めている農薬かどうか、もし違った場合は問題になりますよね。

市 それは農薬の使用登録以外の農薬が出た場合のことですね。そうですね、実際はこれまでにも出たことはあります。具体的には、実際使用禁止農薬が検出されたことはあるのですけども、別のよく使われる農薬を使って、それが分解してまた別の農薬になるというケースがあります。この元の農薬は使っていい農薬だったんですけど、この分解して本来使ってはいけない農薬が検出されたことはあります。

委 員 評価としてはどういう評価になりますか。

市 これも先ほどの基準値がありまして、今使っては駄目な農薬であっても、食品衛生法上はその基準値が設けられていて、その基準値に適合していれば食品衛生法上はセーフという扱いになります。

（5）その他

委 員 108ページの生活衛生営業関係施設数及び立入検査ですが、立入検査っていうのはどういう目的で、どういうところへ、急に立ち入るのか、定期的に立ち入るのか、ちょっと知らないので教えていただければと思います。

市 定期的に計画的に行う立入検査もありますし、何か相談とか苦情とかが入って立ち入りしたり、あと、そもそも最初に届け出や許可の申請等があった場合は、必ずお店にお伺いしています。

会議録の内容に相違ないことを確認し、ここに署名する。

倉敷市保健所運営協議会 会長 宮川 健



倉敷市保健所運営協議会 副会長 鮎波 一弘



倉敷市 保健所運営協議会開催録

開催年月日 : 令和5年10月19日(木)
 開催場所 : 倉敷市保健所 3階 302会議室
 開催時刻 : 15:15~17:00
 協議内容 : 倉敷市保健所の運営内容について

構成区分	役職等	氏名	備考
学識経験を有する者	倉敷市議会 保健福祉委員会 委員長	萩田 尊典	
	川崎医療福祉大学 副学長	宮川 健	
関係機関・団体から推薦された者	倉敷市愛育委員会連合会 副会長	岡本 育子	
	倉敷市栄養改善協議会 副会長	赤沢 佐代子	
"	倉敷市老人クラブ連合会 女性委員会委員	東 登志子	
	倉敷市精神障がい者家族会連合会 副会長	友國 和代	
"	岡山県病院協会 倉敷支部 副支部長	渡辺 哲夫	
	倉敷市連合医師会 会長	難波 一弘	
"	倉敷市内歯科医師会協議会 会長	大森 潤	
	岡山県薬剤師会 倉敷支部 支部長	松村 隆司	
"	倉敷市環境衛生協議会 副会長	藤原 勝穂	
	倉敷市食品衛生協会 副会長	浪尾 良平	
"	岡山県看護協会 倉敷支部 監査	奥山 厚子	
	連合岡山 倉敷地域連絡会 事務局長	宇野 順一郎	
市民	公募委員	坂田 範子	
計 15人			